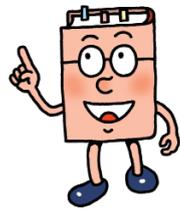


新しい漢字を学ぼう

1



●このページで学ぶ漢字は、16ページから33ページで使われています。

1 — の漢字に気をつけて、次の文を読みましょう。

- ① 第一位の栄かんをつかむ。
- ② 塩味のおかしをおみやげにもらった。
- ③ 草木の新芽が出始める。
- ④ 給水しせつを建てる。
- ⑤ 漢字には訓読みと音読みがある。

⑥ 実験は見事にせいこうした。

⑦ 昨年、家の表札を取りかえた。

2 次の文章を読みましよう。

今年の大会は五位に終わった。このけい験を教訓に、
チームをさい建しよう。

<p>・エン しお</p>	<p>塩 塩塩塩塩塩塩塩塩塩</p>	<p>・エイ さかゝえる</p>	<p>栄 栄栄栄栄栄栄栄栄栄</p>	<p>・イ くじい</p>	<p>位 位位位位位位位</p>
<p>・塩分 塩気</p>	<p>塩塩 13画</p>	<p>・栄光 栄える</p>	<p>栄栄 9画</p>	<p>・じゅん 位 百の位</p>	<p>位 7画</p>
<p>・ケン ケン</p>	<p>験 験験験験験験験験験</p>	<p>・ケン たゝてる／たゝつ</p>	<p>建 建建建建建建建建</p>	<p>・クン クン</p>	<p>訓 訓訓訓訓訓訓訓訓訓</p>
<p>・受験 し験</p>	<p>験験 18画</p>	<p>・建せつ 建具</p>	<p>建建 9画</p>	<p>・訓練 教訓</p>	<p>訓訓 10画</p>



気持ちの^{へんか}変化を^か考えながら読む

ごんぎつね

新美^{にいみ}の^の長野^{ながの}

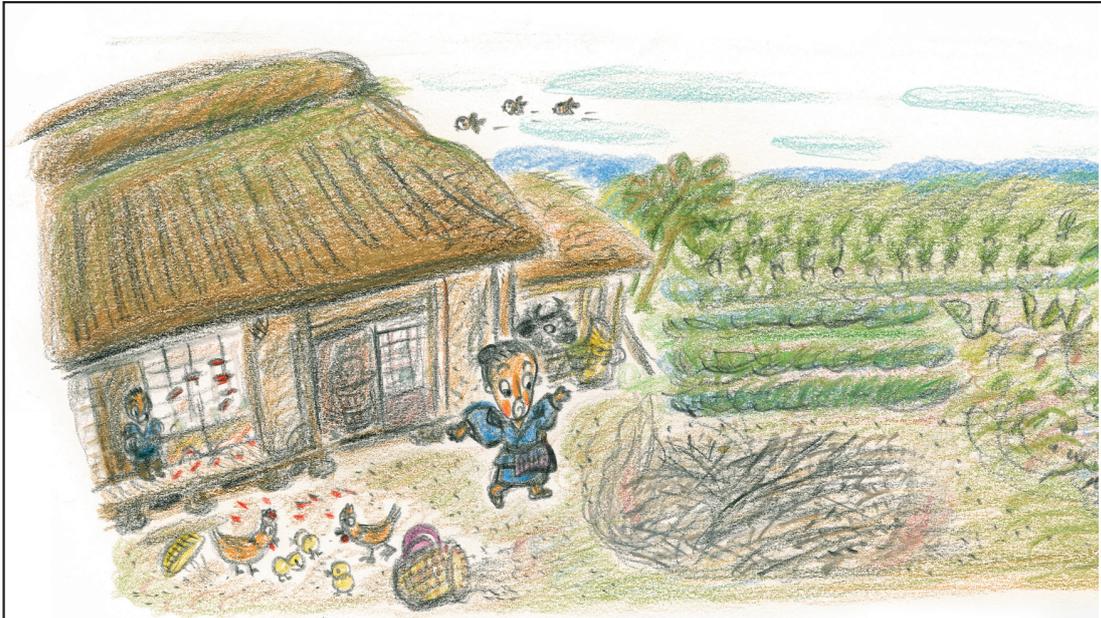
南吉^{なんきち}作

ヒデ子^こ 絵

—



これは、わたしが小さいとき、
村の茂平^{もへい}というおじいさんから
聞いたお話です。



昔は、わたしたちの村の近くの
なかやま中山という所に、小さなおしろ
があつて、中山様というおとの様
が、おられたそうです。

その中山から少しはなれた山の
中に、「ごんぎつね」というきつ
ねがいました。ごんは、ひとり
ぼっちの小ぎつねで、しだのいっ
ぱいしげった森の中に、あなを
ほってすんでいました。そして、
夜でも昼でも、辺りの村へ出てき

て、いたずらばかりしました。畑へ入っていてもほり散らしたり、菜種がらのほしてあるのへ火をつけたり、ひやくしよう家のうら手につるしてあるとんがらしをむしり取っていったり、いろんなことをしました。

ある秋のことでした。二、三日雨がふり続いたその間、ごんは、外へも出られなくて、あなの中にしゃがんでいました。

雨が上がると、ごんは、ほっとしてあなからはい出ました。空はからっと晴れていて、もずの音がキンキンひびいていました。

ごんは、村の小川のつつみまで出てきました。辺りのす

すきのほには、まだ雨のしずくが光っていました。川は、いつもは水が少ないのですが、三日もの雨で、水がどつましていました。ただのときは水につかることのない、川べりのすすきはぎのかぶが、黄色くにごった水に横だおしになって、もまれていきます。ごんは川下の方へと、ぬかるみ道を歩いていきました。

ふと見ると、川の中に人がいて、何かやっています。ごんは、見つからないように、そつと草の深い所へ歩きよって、そこからじつとのぞいてみました。

★いたずら